

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003013	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	梶本 ひろし / Kajimoto Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	梶本 ひろし / Kajimoto Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	梶本 ひろし / Kajimoto Hiroshi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部1年 3班		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kajimoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	教育本館3F311号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2320		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3講時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2959 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	数学のテーマを一つ出します。 採用するかどうかは班員の判断に任せます。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003014	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	内線2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、もの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2960 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003016	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2962 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003018	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Target students	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	e-kamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	技術美術教室 1F 115教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2362		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2964 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	オリエンテーションで配布された「長大生のためのラーニングティップス」を毎回持参のこと。		
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003019	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	河合 史菜 / Fumina Kawai		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	河合 史菜 / Fumina Kawai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	河合 史菜 / Fumina Kawai		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fuminakawai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	本館108研究室		
担当教員TEL/Tel	2355		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前に予約すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2965 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003021	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Target students	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kita1120@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	北浦剛資研究室(252号室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, もの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2967 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	「教師主導型学習(高校)」から「主体的・能動的学習(大学)」へ		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明	A
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業	B C D
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講	B C D
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション	B C D
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション	B C D
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始	B C D
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成	B C D
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成	B C D
第9回	中間発表 質疑応答	B C D
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)	B C D
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出	B C D
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション	B C D
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出	B C D
第14回	最終レポートの修正	A C D
第15回	最終レポートの提出	A C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003022	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第25講義室 / Room 25		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taijihatanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	253		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2968 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003023	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ymaehara@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部212号室		
担当教員TEL / Tel	2386 (内線)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜3校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2969 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003024	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第41講義室 / Room 41		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-tomonaga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	友永研究室(教育棟453)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2335		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・金 13:00-15:00 木 9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせて, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2970 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	貴重な出会いの機会を生かし, 仲間と一緒に成長していきましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003025	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kosuket@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部233教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2404		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日8:50 ~ 10:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2971 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003026	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森野 美央 / Miwo Morino		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	森野 美央 / Miwo Morino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	森野 美央 / Miwo Morino		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室 / Room12		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	morinomi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	226研究室(教育学部2階)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。事前相談いただけると有り難いです。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、もの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2972 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003027	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室 / Room12		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	sonny@i.edu.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部本館3F 308室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2325		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2973 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003029	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	minematsu nagasaki-u.ac.jp (メール送信の際には を@にかえてください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館111室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、もの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2975 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180581003030	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 大学院科目[機械], 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第2 コンピュータ室 / Room PC2		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。 A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2976 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出